

平成**29**年度
採用分対策

目指そう！ 学振特別研究員

URAによる申請書改善支援

受付期間 平成**28**年**3**月**15**日^火 - **4**月**20**日^水

対 象 採用後の受入研究者が本学の教員である平成29年度採用分特別研究員申請書案

申請書の要求を満たしているか、審査員に研究提案の魅力が伝わるか
URAがチェックしコメントを返します。

研究内容についてはコメントしません。先生としっかり相談してください。

支援申込 → コメント受け取り → 学振への応募の流れ

受付期間

3/15
↓
4/20

申請書
受領から
約1週間

- 1** 「平成29年度採用分日本学術振興会特別研究員申請書改善支援申込フォーム」からお申し込みください。

筑波大学研究ポータル「COTRE(コトリ:<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/>)」の
本支援告知ページにあるフォームからまずはお申し込みください。

3/15オープン <http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/5830>



- 2** 申請書データをメールで送信ください。

申請書送り先 uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp

- 3** URA2名が別々に「チェックリスト(裏面、COTREに掲載)」の項目をチェックしコメントを記入。
受付確認メールから1週間を目処にコメント入り申請書をメール送信します。

コメントに関する質問はURA研究支援室へメールください。

コメントに関する質問窓口 uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp

申請書
提出締切

- 4** 所属部局の締切日までに各部局の指示に従い、申請書を提出ください。

部局ごとに締切日が違いますのでご注意ください。本支援は学振特別研究員の応募申請とは異なります。

- 5** 公募終了後にアンケートを実施しますので、回答のご協力をお願いします。

URAチェックのポイント

「URAによる申請書改善支援」では、申請書の研究計画を
 評点要素の視点から審査員にとって**できるだけ明確で、
 魅力的で、説得力のあるもの**にすることを目標とし、下記3
 つの観点を中心に改善のためのコメントをつけます。

申請する専門分野と少しずれた専門性を持つ審査員
 にも明快に伝わるか？

審査員にとって魅力的な研究提案か？

申請書の要求を満たし、明確かつ説得力のある文章で
 書かれているか？

右の表は、URAが本支援で実際に使用するチェックシート
 です。筑波大学研究ポータル「COTRE」の本支援告知ペー
 ジからダウンロードできる「**学振特別研究員 書き方の手
 引き**」にも収録されています(3/15公開予定)。

コメントに関する質問は、部局の支援室ではなく、URA研
 究支援室で受け付けます。

受付メールアドレス: uketsuke1@un.tsukuba.ac.jp

■ 効果の高い申請書改善コメントを得るために

空白の多い申請書に有効なサポートはできません。

申請書作成にはなるべく早く取り掛かり、十分な時間とエ
 フォートをかけ、自分なりの完成度を高めた内容と体裁の
 申請書をURAにお送りください。もちろん、研究内容自体
 は指導教官とよく相談して練っておいてください。

■ URA 2 名のコメントが食い違っていたら？

2 名のURAによる改善意見は「指示」でなく皆さんが修正
 を決するための「ヒント」です。2 名の改善意見が食い違
 う場合でも、申請書にどのように書くか最終的に決定する
 のは申請者自身です。第3者(メンターの先生等)と相談
 することも有用です。なお、**コメントに関する質問は部局
 の支援室ではなく、URA研究支援室で受け付けます。**

COTREを活用しよう！

本支援の告知ページは筑波大学研究ポータル「COTRE」
 内に3/15に公開します。本支援の申し込み、「学振特別研
 究員 書き方の手引き」の他お知らせなどを掲載します
 ので活用ください。



筑波大学研究ポータル「COTRE(コトリ)」
<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/>

項目	ポイント	確認
課題名	研究課題名の文字数制限(40字)を逸脱していないか	
	研究課題名と申請内容はあっているか	
現在までの研 究状況	申請書の各欄に書かれている「その欄に書くべき内容」が網羅されているか	
	研究の内容、研究の背景など指示に従って混乱しないように書かれているか	
	「後述する」、「先述の」、「その」、「それ」といった指示語が何を指しているか明確か	
	「業績」欄に記載した論文、学会発表を適切に引用しているか	
	研究の背景は過去形で書かれているか	
	何を(申請者は)実施するのか明示的に記載されているか	
	何を対象とした提案なのか明確に書かれているか	
	問題点がなぜ問題なのかきちんと説明できているか	
これからの研究		
研究の背景	「研究の目的は××である」というような直接的な表現で記載できているか	
	研究の内容、研究の背景など指示に従って混乱しないように書かれているか	
	申請書の各欄に書かれている「その欄に書くべき内容」が網羅されているか	
	「着想の経緯」に、自分だからこそできる、自らすんでやりたいという意欲がアピールできているか	
	根拠が明示されているか	
	引用文献は出典が特定できるように記載されているか	
	「後述する」、「先述の」、「その」、「それ」といった指示語が何を指しているか明確か	
研究目的・内 容	何を、どこまで明らかにしようとするかが明確に書かれているか	
	「課題」と「方法」は対応しているか	
	研究者による工夫や難しい点について言及されているか	
研究の特色・ 独創性	研究目的と波及効果の欄に整合性があるか	
	「後述する」、「先述の」、「その」、「それ」といった指示語が何を指しているか明確か	
	自分がこの研究をするのはなぜなのか、何が自分のオリジナリティなのか書かれて いるか	
	研究を通じてどのように社会に貢献するのか書かれているか	
年次計画	年次毎に漏れなく記入できているか	
人権保護及 び法令等の 順守	関連する筑波大学規則が適切に記入されているか	
	関連する法令が適切に記入されているか	
研究業績に ついて	アンダーラインや○の指示を守っているか	
	新→古順に通し番号を付けているか	
	該当がない項目に「なし」と記載しているか	
自己評価に ついて	自身に投資することが、将来日本のためにいかに役に立つかが述べられているか	
体裁について	余白が1割を超えていないか	
	アンダーライン・太字等文字修飾が適切に使用できているか	
	文字サイズ、枠等、指定の形式が守られているか	
	複数の強調法が混在していないか	
	スペースのバランス配分は適切か	
	図はグレースケールでも見やすいか	
	図中に使用する文字のサイズが小さすぎないか	
	表や図の中の文章の改行位置は適切か	
全体	研究計画(目的・方法)、研究期間で整合性が取れているか	
	業績欄に記載した内容を研究計画(目的・方法)でアピールできているか	
	予想される疑問・反論に備えているか	
	申請者の主張や考えが客観的な根拠や理由でサポートされているか	
	専門的すぎる用語が使用されていないか	
	過去、現在、未来、普遍的なこと、のそれぞれについて時制が適切に使用されてい るか	
	主語が明確か	
	単語の意味が「厳格」に使用されているか「～検討する」「～検証する」「～実施する」 「～見極める」等の相違	
	箇条書きの数字(英字)が重複して使われていないか	
	用語の表記ゆれがないか	
	公募対象外ではないか	